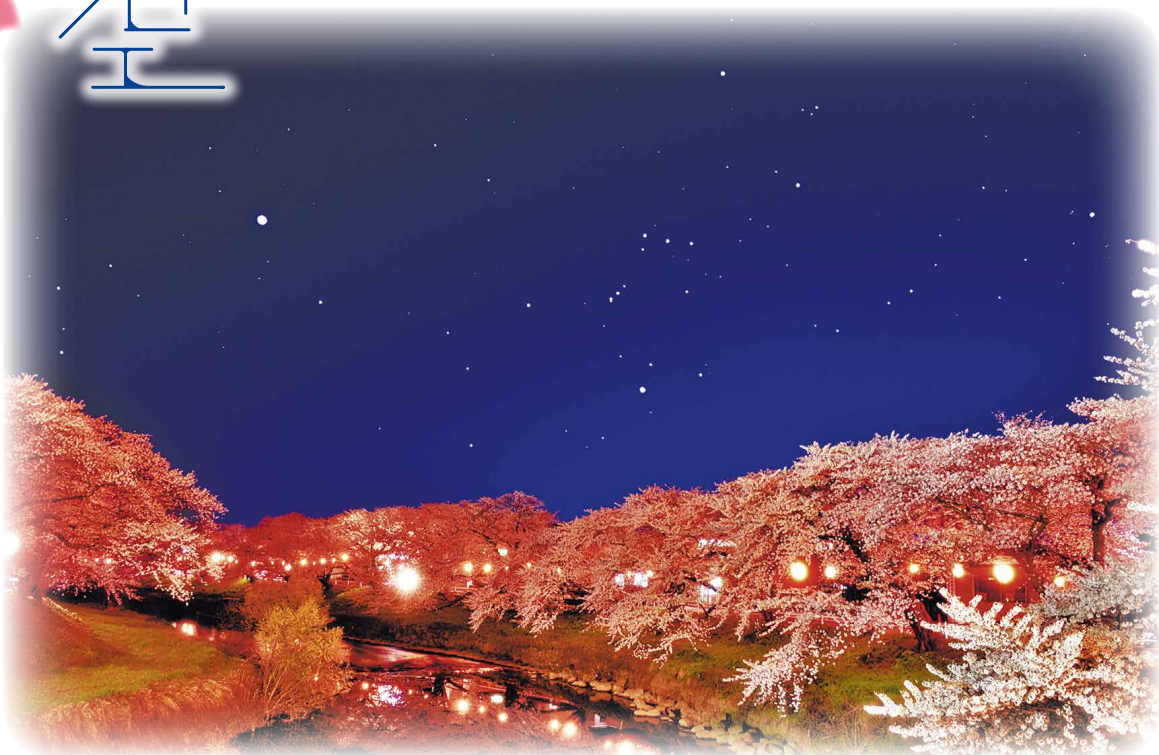


星 秋田の空

春

写真と文・天文同好会「秋田星っこの会」

秋田の景色と、その上に広がる星空が織りなすロマンチックな「星景」と、季節の代表的な星座や星雲を、秋田星っこの会による写真と解説でご紹介します。



桜満開の宵の口、西空に沈みかけるオリオン座。秋田市檜山の太平川愛宕下橋にて撮影

桜とオリオン宵の共演

桜が満開の春の宵、西の空にはオリオン座が傾いて季節に別れを告げます。冬の代表的な星座として有名なオリオン座ですが、雪国の秋田では天候に恵まれず、目にする機会はあまり多くはありません。むしろ夏の夜明け、秋の夜更け、そしてこの春の宵が観望の好機といえます。

この時期、桜の上を見上げれば「おおぐま座」の北斗七星が高く上り、ひしゃくのカーブは「うしかい座」のアークトゥルス、「おとめ座」のスピカへと続き「春の大曲線」をつくります。少しかすむことが多い春の空ですが、夜桜見物がたんに見上げてみてはいかがでしょう。



春の代表的銀河

「おおぐま座」にある春の代表的な銀河、M 81（渦巻銀河・写真右側）とM 82（不規則銀河・写真左側）です。双眼鏡や小望遠鏡では写真の通り「ハの字型」に並んで見えます。M〇〇とはメシエ〇〇と読み、18世紀の天文学者シャルル・メシエが彗星と間違いやすい天体を整理した「メシエ天体カタログ」の登録番号です。